

平成 17 (2005) 年度 日本語一般コース及び Study Japan Program 報告

留学生センター 畝田谷 桂子

1. 日本語一般コース、Study Japan Program とは？

留学生センターでは、全学の外国人留学生、外国人研究者、その家族を対象に、共通教育や大学院で開講する授業以外に、多くの日本語授業を提供している。留学生向けは「研修コース」と「一般コース」、外国人研究者および家族向けは「家族サポートコース」である。

「研修コース」は、主に大使館推薦国費研究留学生を対象とする、日本語初級1学期集中の大学院入学前予備教育である。

「一般コース」は全ての留学生が個々の日本語能力に応じて受講できる授業である。その授業内容は1学期ごとに完結し、学生はあらかじめプレースメントテストで指定されたレベル内において、各々の日本語能力と時間の余裕に応じて、授業を必要なだけ選択して取ることができる。能力別に初級から上級の授業が提供され、技能別の授業も設けている。

「一般コース」の授業の中で、学術交流協定校派遣の特別聴講学生に対して日本語初・中級レベルの単位および修了証を発行するのが Study Japan Program である。

ただし上級レベルの授業は、共通教育の日本語・日本事情科目(学部留学生の必修科目)を「一般コース」の中で上級レベルとして位置付け、学部生以外の上級レベルの留学生にも受講を許可している。またこの他に、農学研究科が開講している科学技術日本語(中級後半から上級レベル)についても、共通教育科目と同様に「一般コース」の中でレベルの位置付けを行い、日本語学習機会の選択肢の一つとして、適正レベルの他研究科の留学生にも受講を勧めている。

本稿では一般コースと Study Japan Program について、以下の順で平成 17 年度実施報告を行う。2. 今年度の課題に対する成果 3. 今年度の運営報告、4. 各授業の受講者数、修了者数、開講場所、受講者の在籍資格、専門・所属、国籍、5. 次年度の課題

2. 今年度の課題に対する成果

「平成 16(2004)年度日本語一般コース及び Study Japan Program 報告」注1)に本年度の課題としてあげた以下の3点について報告する。

2-1. 教育の質の継続的向上

本年度の教育上の新たな試みは1)初級レベルの教材の電子化に取り組み、実用に向けて検討を重ねたこと、2)中級会話1クラスの教科書を『中級へ行こう』(スリーエーネットワーク)に変更し(中級レベルの構文力、語彙力増強目的)、会話力養成のために教科書に沿った会話教材を作成したこと、3)上級レベルでプレゼンテーションを全員に課したこと(コンピュータ使用を推奨)である。

また、今年度も授業担当者の情報交換を活発に行うことにより、授業運営に効果があがるよう努めた。レベルごとに、直接の話し合いや、担当者間で授業ごとの電子メールアドレスを設定することなどにより、授業方法・内容や学生について情報を共有し、授業運営に共通理解を深め

た。

2—2. 新規非常勤講師のトレーニング、日本語プログラムへの理解醸成

今年度新たに加わった非常勤講師に対し、前期に専任教員の授業を見学してもらい、専任教員も非常勤講師の授業を見学して意見交換および助言を行った。さらに非常勤講師担当授業の前後に教案の検討会を1週間に1度実施した。

2—3. 非常勤講師予算削減による授業数減少問題

今年度非常勤講師の予算削減により、共通教育後期の日本語 III が3クラスから2クラスとなった。さらに水産学研究科の日本語授業年間4コマが閉鎖となった。

その結果、共通教育では学部生の増加もあいまって、1クラスが約23名というかつてない大きなクラスになった。学生参加型のプレゼンテーション技能を養う授業を行い、教育効果への影響を低減する努力を行ったが、学生数の多さと学生間の能力の開きにより、教育効果の低下は否めず、成果が十分に上がったとはいえない。

一方水産学研究科の授業閉鎖は、結果的に水産学部所属の日本語受講者数を、閉鎖授業を前年度受講した学生数とほぼ同数減少させる結果となった。(通年で14名減少)下荒田キャンパスで開講されていた日本語授業が閉鎖され、水産の学生が郡元キャンパスの日本語授業へ移動しなかったと見られる。水産学研究科の授業は受講者数は多くなかったが、やはり授業閉鎖によって水産学部留学生の日本語学習の機会が喪失されたと言えよう。これにはキャンパス間の移動時間の問題もあり、対応が難しい。

以上2点に関しては、来年度もひきつづき事態の改善に努める。

3. 本年度の運営報告

【1】開講時期

前期:4/18~7/29 (15週間) 後期:10/17~2/14 (15週間)

新規留学生の多くが4月、10月初旬に渡日するが、渡日後の各種手続き等に調整期間が必要であるため、毎年学期期間は全学の授業日程より遅れて設定している。

【2】オリエンテーションとプレースメントテスト

前期 4/12、後期 10/11(午前:初・中級プレースメントテスト、
午後:オリエンテーション)

a. プレースメントテスト

上級プレースメントテストは各学期の共通教育初回授業で実施

プレースメントテスト追加試験:10/21, 22

対象:所定の日時に受験できなかった学生

受験者総数:前期 66名(内上級テスト受験者 35名)

後期 64名(内上級テスト受験者 42名)

初・中級用問題:SPOT B(Simple Performance-Oriented Test 筑波大学開発)
及び自作文法問題

上級用問題:SPOT A、日本語検定協会の J. Test の一部

b. オリエンテーション

配付物: 前期『鹿児島大学日本語プログラム Spring 2005』

『スタディ・ジャパン・プログラム授業科目概要』

後期『鹿児島大学日本語授業履修案内 Fall 2005』

『スタディ・ジャパン・プログラム授業科目概要』

上記配付物により、全授業のレベル別リスト及び授業担当者、教科書、授業内容、受講規則及び修了認定規則、教室配置図等を説明し、プレースメントテスト結果に基づいて受講クラスについて個別指導を行った。

【3】留学生センターホームページで日本語プログラム情報公開

例年どおり前・後期ともオリエンテーション当日までに、新学期の日本語プログラム情報をホームページで公開した。今年度は留学生課と連携して奨学金情報ならびに諸手続き情報を載せる計画が進行した。また、トップ頁の改善を検討し、平成18年度4月からリニューアルする予定である。

【4】コースインフォメーション作成及び初回授業での学生への配布、説明

今年度も、全授業担当者がコースインフォメーション(『スタディ・ジャパン・プログラム授業科目概要』等に記載されているシラバスより詳しい、各授業についての確定情報)を作成し、各々の初回授業で学生に配布、説明した。コースインフォメーションは、授業開始後留学生センターにファイルし、随時学生や他授業担当者に提示できるようにしている。遅れて来日した学生や、興味のある授業について情報を得たい学生に各クラスの詳しい情報を提供したり、講師間で授業情報を得ることに役立てた。

【5】オープンクラス(授業公開)

毎学期一定の授業を学内、学外者に公開し、参観者との意見交換および質疑応答を行っている。今年度は以下の通り実施した。

前期 6/22 公開クラス: 初級1、初級2、初級3、研修コース

参観者延べ総数 41名 内訳: 学内 教育学部生 14名

学外 鹿児島国際大学学生 20名

鹿児島純心女子大学学生 7名

後期 1/23~1/27 公開クラス: 初級1、初級2、初級3、中級会話1、中級読解2

参観者延べ総数 39名 内訳: 学内 教員 1名

学外 38名

【6】学生による授業評価

今年度も、留学生センター所属の授業担当者の日本語授業全てに対して学生による授業評価を行い、留学生センターで回収、集計結果を公表した。(巻末参考資料)授業評価質問紙は留学生センターで統一したものを作成、使用している。

【7】Study Japan Program

学術交流協定校派遣の特別聴講学生に対して日本語初・中級レベルの単位および修了証を発行する Study Japan Program を平成 16 年度後期から開講している。SJP は日本語学修科目(必修・選択)、文化学修科目(必修・選択)で構成されており、10 単位以上修得した特別聴講学生には、SJP 修了証書が発行される。

本年度の SJP 単位認定者数は 25 名、総認定単位数 218 単位(前期 77 単位、後期 141 単位)、そのうち 8 名(前期 2 名、後期 6 名)が SJP 修了証を取得した。

SJP の特徴、プログラムの概観は以下の通りである。(『SJP 授業科目概要』)

SJP の特徴

- 1 1学期または1年間、日本語日本文化を中心に学ぶプログラムである。
- 2 1学期で 10 単位、2学期で 20 単位以上修得することができる。
- 3 学術交流協定校からの短期留学生はこのプログラムにより、単位を修得し、修了証を得ることができる。
- 4 このプログラムの受講により、日本語の基本的な運用力を身につけることができる。
- 5 日本の文化と社会について基礎的な学識を得、異文化理解を深めることができる。

表1 プログラムの概観(春学期・秋学期)

種類	区分	レベル又は科目	単位数	プログラム修了要件	
				最少単位数	週当たり最少時間数
日本語学修科目	必修	初級1	5	5(各レベルで指定する科目を週5コマ学修すること)	7.5
		初級2	5		
		初級3	5		
		中級1	5		
		中級2	5		
	選択	初級	1	1(初級・中級の各レベルで開講されている選択科目のうち週1コマの科目を学修すること)	1.5
		中級	1		
文化学修科目	必修	異文化理解1	2	2(左のいずれか1つの科目を学修すること)	1.5
		異文化理解2	2		
	選択	日本文化入門	2	2(左のいずれか1つの科目を学修すること)	1.5
		日本人と学ぶ鹿児島 修了レポート指導	2 2		
合計				10 単位	12 時間/週

【8】2005 年度の開講科目状況

今年度鹿児島大学で開講した全日本語授業の開講科目数状況を表2に示す。

表2 2005年度 鹿児島大学日本語授業の開講科目数状況

開講部局		レベル	開講コマ数/週		
			前期	後期	
留学生センター	研修コース	初級(集中コース)	14	0	
	一般コース Study Japan Program	初級	初級1	6	6
			初級2	7	7
			初級3	6	6
		中級	中級1	9	8
			中級2	4	5
	全レベル向け			4	4
	家族サポートコース	初級		11	11
		中級		1	2
日韓コース	中級		0	1	
農学研究科		中級2	1	0	
共通教育		上級	7	7	
週あたり開講コマ数合計			70	57	
週あたり開講コマ数 前期+後期 総計			127		

- ・「漢字1」は研修コースと一般コースの初級1レベル双方の開講コマ数に含まれる。
- ・「漢字1」は初級1、「初級作文」「漢字2」は初級2、「漢字3」は初級3、「日本文化入門」「発音クリニック」「中級作文」「読解入門」「コンピュータ実習」は中級1、「日本人学生と学ぶ鹿児島(後期)」は中級2、「異文化理解1」「異文化理解2」「日本語ワークショップ」「修了レポート」は全レベル向けの開講コマ数として数えた。
- ・家族サポートコースは国際交流会館クラスと桜ヶ丘日本語クラス。
- ・夏・冬・春季休業中の補講は開講コマ数に含めない。
- ・漁業庁委託コースは開講コマ数に含めない。

週あたり開講コマ数の前・後期総計はここ数年ほぼ同様で、大枠で定着している。この基本体制の中で、年度内において様々に起こる個別要因により開講科目を学期ごとに微調整し、継続して柔軟な対応を行った。

本年度開講した授業科目を表3「レベル別開講科目一覧表」に示す。各授業の担当者、内容、教材等については、学生向けパンフレット『鹿児島大学日本語授業履修案内 spring 2005』、『鹿児島大学日本語授業履修案内 Fall 2005』『スタディ・ジャパン・プログラム授業科目概要』を御覧頂きたい。紙面の都合上ここでは割愛させて頂く。

表3 レベル別開講科目一覧表 平成17年度前期

開講部局	開講場所	コース	レベル			
			初級	中級1	中級2	上級

留学生 センタ ー	郡元	研修コース	研修コース(集中コース)						
		一般 コース Study Japan Program	初級1 漢字1	初級2 漢字2 初級作文	初級3 初級応用 漢字3	中級会話1 読解入門 中級読解1	中級会話2 中級読解2		
			日本語ワークショップ、異文化理解1、異文化理解2、修了レポート						
	桜が丘	家族	初級1		初級2	中級			
国際交 流会館	サポート コース	初級1	初級2	初級3					
		初級応用会話							
共通 教育	郡元							日本語Ⅰ 日本語Ⅱ 日本事情A 日本事情C	
農学 研究科	郡元							科学技術日本語	

平成17年度後期

開講 部局	開講 場所	コース	レベル						
			初級			中級1	中級2	上級	
留学生 センタ ー	郡元	一般 コース Study Japan Program	初級1 漢字1	初級2 漢字2 初級作文	初級3 初級応用 漢字3	中級会話1 読解入門 中級読解1	中級会話2 中級読解2		
			日本語ワークショップ、異文化理解1、異文化理解2、修了レポート						
			桜が丘	家族	日本語入門		日本語ワークショップ		
	国際交 流会館	サポート コース	初級 1	初級 2	初級 3	初級 4			
共通 教育	郡元							日本語Ⅲ 日本語Ⅳ 日本事情B	

4. 各授業の受講者数、修了者数、受講者の在籍資格、専門・所属、国籍

前期と後期の各授業の受講者数、修了者数、受講者の在籍資格、専門・所属、国籍を巻末の表11、12にまとめた。受講者の特徴を、例年にならい以下4点について考察する。

【1】受講者数と修了者数

2001年度からの受講者総数と修了者数および全学留学生数を表4に示す。(修了条件:出席

率 80%以上、試験得点 60%以上)

表4 日本語授受講者総数及び修了者数および全学留学生数 (単位:人)

	受講者総数 (延べ数)		修了者数 (延べ数)		全学留学生数 (各年度大学概要による)
	前期	後期	前期	後期	
2001 年度	180	199	73	65	322
2002 年度	257	302	66	71	300
2003 年度	297	301	92	93	325
2004 年度	333	336	91	168	344
2005 年度	372	344	155	137	347

留学生数の増加にともない、今年度も日本語受講者数は増加した。

例年、学位取得を目指す多くの大学院生と研究生等が、修了できない理由として専門科目の多忙さ、時間割りの重複等を抱えている。しかし、修了条件を満たせなくても可能な限り授業に参加し、日本語そのものの能力を伸ばす努力をしている学生が多い。一方、本学の学位取得を目的としない短期留学生(学術交流協定校派遣の特別聴講学生、特別研究学生、及び科目等履修生)は修了条件を満たしやすい環境にあり、本年度も修了証または単位を得て帰国することに意欲的であった。

【2】受講者の在籍資格

2002 年度からの受講者の在籍資格別割合を表5に示す。

表5 受講者の在籍資格別割合 (単位:%)

	学位取得 目的の学 生	(内訳)				短期 留学生	家族	研究員
		大学院生	研究生	学部生	予備教育生			
2002 年度	67.7	24.5	30.4	12.9	集計に含めな かった	19.7	9.7	3.0
2003 年度	63.9	21.2	23.1	15.4	4.2	24.1	9.9	2.2
2004 年度	56.5	15.7	15.5	21.4	3.9	30.2	10.3	3.0
2005 年度	58.1	9.8	12.3	31.8	4.2	33.8	5.7	2.4

受講者の在籍資格は、学位取得を目指す大学院生、研究生、学部生、予備教育生が半数以上を占め、2004 年度まではその割合は減少傾向であったが、本年度は微増した。その理由は、学部生の増加であろう。一方短期留学生の割合は一貫して増加している。

参考として、本年度の留学生総数に占める在籍資格別人数割合と、日本語受講者の在籍資格別割合を比較すると以下ようになる。

表6 留学生総数に占める在籍資格別人数割合と、日本語受講者の在籍資格別割合

留学生総数に占める在籍資格別人数割合は平成 17 年度 5/1 現在。平成 17 年度鹿児島大学概要による。

	A. 留学生総数に占める 在籍資格別人数割合	B. 日本語受講者の在籍資格別割合
大学院生、研究生、学部生、予備教 育生(学位取得目的の留学生)	91.4%	58.1%
短期留学生	8.6%	33.8%

このところ短期留学生の在籍者数が増え、留学生総数に占める割合も、平成 14 年度の 2.0% から本年度 8.6%と増加している。日本語授業の受講者ではその割合はさらに高く、33.8%、3 人に 1 人を占めるに至った。年々日本語受講者の中で短期留学生の割合が高まっていることは、平成 14 年度からの推移(表 5)を見ても明らかである。その一方、大学院生、研究生、学部生のグループは、本年度も留学生総数の 91.4%を占めているが、日本語授業では 58.1%にとどまっている。この現状は、以下の理由によると考えられる。

短期留学生が日本語受講者に占める割合が高い理由としては、第一に、学部生が多く(表 7)、留学目的がもともと日本語・日本事情(日本社会や文化等)を学ぶことと、あるいは日本語・日本事情と専門を学ぶことという学生が多いことが挙げられよう。自国の大学でも専門を研究するという段階に至っていない学生も多く、学位取得目的の大学院レベルの学生とは留学目的が異なっている。第二に、共通教育や部局で開講されている日本語による授業や実験に参加するには、最低上級の日本語レベルが必要だが、参加したくてもそれらの科目を受講して理解できるほどの日本語能力がない学生が多い(表 8)ためである。日本語が初・中級レベルの学生は、おのずと日本語の学習が中心になる。

表 7 特別聴講学生の内訳(平成17年度 11月1日現在)

所属	内訳	内訳人数	人数
大学院	医歯学総合研究科	1	1
学部	教育学部	8	26
	農学部	8	
	法文学部	5	
	水産学部	3	
	工学部	1	
	医学部	1	
			総計 27

表 8 特別聴講学生の日本語授業受講レベル(平成17年度後期)

レベル	初級1	初級2	初級3	中級1	中級2	上級
受講者数	6	4	2	2	6	6
受講者総数	26					

特別聴講学生在籍総数は 27 名。うち大学院 1 名（桜ヶ丘在籍）は郡元キャンパス日本語授業を受講していない。

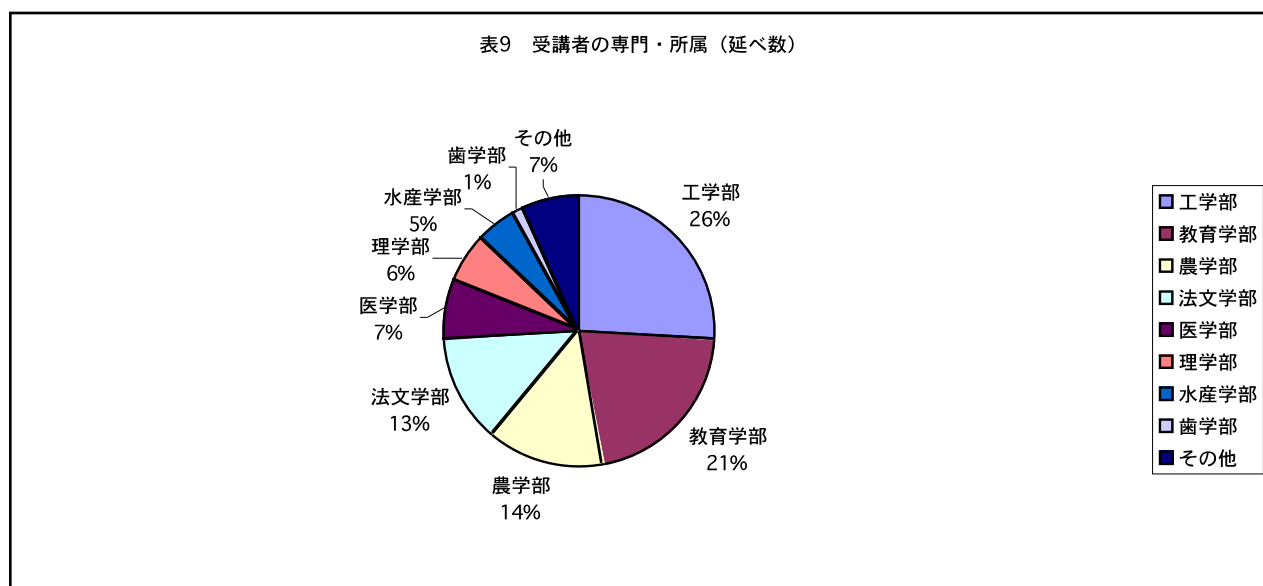
一方、学位取得目的の学生が、留学生総数に占める割合に比して日本語受講者に占める割合が少ないのは、彼等が長期滞在であり、滞在期間中初期には日本語授業を取るが、後半になると専門の勉強に比重が置かれ、日本語授業を取らなくなるためである。

学部生を例にとると、1、2年ですべての日本語科目を履修する必要があり、この単位を取得すれば、3、4年では履修できる日本語科目が選択肢としてまったくない。また大学院生では、多くは非漢字圏の博士過程に見られるが、研究に日本語が必要でない学生もあり、この場合は初級を修了し生活に必要な日本語を身につけた後、来日後比較的短期間で日本語授業から離脱するケースも見られる。

以上、受講者の在籍資格の分析から、日本語・日本事情教育において留学生センターが二つの使命を担っていることが、あらためて確認できる。第一は、短期留学生の留学目的である日本語・日本事情教育、第二は、学位取得目的の留学生に対する生活レベルおよび専門研究の助けとしての日本語・日本事情教育である。どちらも重要であるが、短期留学生（特別聴講学生等）で日本語が初・中級レベルの学部生には、留学生センターの授業が留学中の中心をなしているという点は、国際学術交流協定に基づく学生交流において、本センターの教育活動が欠かせない役割を果たしているということが言えよう。

【3】受講者の専門・所属

本年度の受講者の専門・所属は表 9 および表 11 のとおりである。

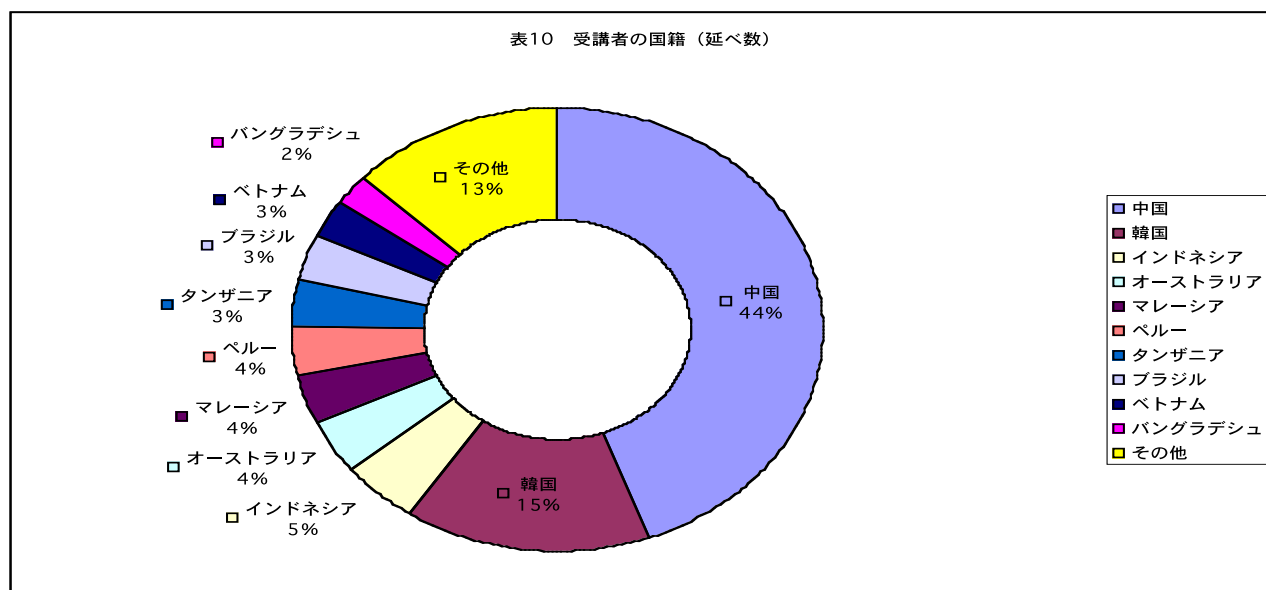


昨年度と比較すると教育学、工学が顕著に増え、農学、水産学が減少した。教育学は短期留学生の増加、工学部は学部生の増加によるものと思われる。また、昨年度より減少したものの、例年全体の 6 割前後を占めている理系分野が、本年度も全体の 59.1%を占めた。

【4】受講者の国籍

本年度の受講者の国籍は表 10 および表 12 のとおりである。

表10 受講者の国籍（延べ数）



最多の中国の受講者が総受講者に占める割合は44.0%、第2位の韓国14.8%を含めると漢字圏の学生は58.8%であり、例年どおり全体の半数以上を占めている。漢字圏学生の割合は2003年度から継続的に増加している。

分析を始めた2001年度からの推移を見ると、学术交流協定の増加によって昨年度まで年々増えていた韓国の学生の割合が本年度は減少し、2003年度から減少していた中国の学生の割合が増加した。これは、本年度中国の学部生が多く入学したことによる。

非漢字圏の学生で多いのはインドネシア、オーストラリア、マレーシアなどである。他はアジア、南米、アフリカ、中近東各国にわたってばらついている。例年どおり北米、ヨーロッパ地域からの受講生は少なく、本年度もアメリカ、スペイン、ドイツ、ロシアのみであった。

上記【1】～【4】の考察の他に、後掲表11、12から必要に応じてレベル別・授業別の受講者数／修了者数／専門／国籍、授業別在籍資格を分析することができる。

5. 次年度の課題

まず、継続的な教育の質の充実については、授業担当教員の教授能力を向上するため、タスク型研修を行ったり授業研究の成果を学外で発表するなど、授業の実践と研究のつながりを強くすることが課題である。

次に、授業評価の効果的な扱いについて工夫する必要がある。評価を受けた上での授業の改善計画、および改善後の効果の検証について考える必要があるだろう。

最後に、上級レベルの非常勤講師予算削減によるクラス当たり学生数の増加に対処する必要がある。また、学部入学生数の増加によって上級レベルに日本語能力の低い学生が増えているので、この問題の解決も必要である。

注1) 畝田谷(2005)『留学生センター年報 2004～2005』、pp.31～44

表11 各授業の開講場所、受講者数、性別、修了者数、受講者の在籍資格、専門・所属

平成17年度前期

科目	開講場所	受講者数	性別		修了者数	受講者の在籍資格							専門・所属									
			男性	女性		学部生	大学院生	研究生	予備教育生	短期等	研究員	家族等	農学	水産	医学	工学	法文	教育	歯学	理学	他大学	その他
初級会話1	総合教育研究棟	5	3	2	5	0	2	1	0	2	0	0	0	0	0	2	0	3	0	0	0	0
初級会話2		12	10	2	11	0	1	2	0	9	0	0	4	0	1	1	0	5	0	1	0	0
初級会話3		13	9	4	10	0	2	2	0	9	0	0	3	2	0	0	0	7	0	1	0	0
漢字1	共通教育棟	14<12>	7	7	13	0	0	1	12	1	0	0	2	2	2	3	0	0	0	4	1	0
漢字2		5	3	2	5	0	0	0	0	5	0	0	2	0	0	1	0	2	0	0	0	0
漢字3		2	1	1	2	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0
初級作文	総合教育研究棟	8	3	5	6	0	1	1	0	5	0	1	1	1	1	1	0	3	0	0	0	0
初級応用		8	4	4	6	0	0	1	0	7	0	0	1	1	0	0	0	6	0	0	0	0
中級会話1		17	11	6	9	0	7	1	0	7	0	2	3	0	1	2	2	6	0	1	0	0
中級読解1		11	8	3	6	0	6	1	0	3	0	1	3	0	0	2	1	2	0	2	0	0
読解入門		4	2	2	3	0	2	0	0	1	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0
中級会話2	共通教育棟	14	11	3	9	0	6	1	0	7	0	0	1	2	0	1	2	4	0	3	0	1
中級読解2		6	5	1	3	0	3	1	0	2	0	0	0	0	0	1	1	3	0	0	0	1
中級作文		17	10	7	11	0	5	2	0	9	0	1	1	2	0	1	2	8	0	1	0	1
発音クリニック	共通教育棟	5	3	2	4	1	0	1	0	3	0	0	0	2	0	0	0	1	1	1	0	0
コンピューター実習		3	2	1	3	0	0	0	0	3	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0
日本語ワークショップ		3	2	1	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0
異文化理解1		20<12>	12	8	18	0	0	1	12	7	0	0	2	2	2	3	1	5	0	4	1	0
異文化理解2		5	3	2	5	0	1	2	0	2	0	0	0	2	0	0	1	2	0	0	0	0
日本文化入門		10	6	4	9	0	0	2	0	8	0	0	1	2	0	0	2	5	0	0	0	0
修了レポート		3	2	1	3	0	0	0	0	3	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0
日本語I*		37	17	20	1	33	1	0	0	3	0	0	3	0	1	20	6	5	0	2	0	0
日本語II*		38	19	19	1	34	2	0	0	2	0	0	3	0	2	20	7	4	0	2	0	0
日本事情A*		37	19	18	0	33	0	0	0	4	0	0	2	0	1	20	7	4	0	2	0	1
日本事情C*	27	14	13	0	20	0	0	0	7	0	0	3	1	2	13	5	3	0	0	0	0	
科学技術日本語	農学研究科	7	5	2	0	0	7	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	
郡元キャンパス小計		331	191	140	143	121	47	22	24	111	0	6	44	20	14	91	40	84	1	25	2	4
会館初級1	国際交流会館	9	2	7	3	0	0	1	0	0	1	7	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0
会館初級2		4	1	3	2	0	0	1	0	0	1	2	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0
会館初級3		5	1	4	3	0	0	0	0	0	1	4	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
初級応用会話		9	2	7	4	0	0	1	0	2	1	5	1	1	1	0	0	1	0	0	0	0
国際交流会館小計		27	6	21	12	0	0	3	0	2	4	18	1	1	4	0	0	3	0	0	0	0
桜ヶ丘初級1	医学部 国際交流室	7	2	5	0	2	0	0	1	3	1	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0
桜ヶ丘初級2		4	1	3	0	1	0	0	1	2	0	0	0	2	0	0	0	2	0	0	0	0
桜ヶ丘中級		3	0	3	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0
桜ヶ丘キャンパス小計		14	3	11	0	3	0	0	3	7	1	0	0	10	0	0	0	3	0	0	0	0
総計		372	200	172	155	121	50	25	24	116	11	25	45	21	28	91	40	87	4	25	2	4

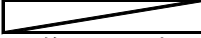
- 注) 1 数字は延べ数。
 2 *印の科目は共通教育科目。
 3 色付セルは単位発行ができない学生の修了者数。
 4 修了者数欄  は修了認定をしない授業。
 5 <>は内数で研修コース生。
 6 専門・所属:研修コースの学生はそれぞれの専門によって分類。
 7 短期等:特別聴講学生、特別研究生、県費留学生、教員研修留学生、日本語日本文化研修留学生。

表11 各授業の開講場所，受講者数，性別，修了者数，受講者の在籍資格，専門・所属

平成17年度後期

科目	開講場所	受講者数	性別		修了者数	受講者の在籍資格							専門・所属							
			男性	女性		学部生	大学院生	研究生	予備教育生	短期等	研究員	家族等	農学	水産	医学	工学	法文	教育	歯学	理学
初級会話 1	総合教育研究棟	14	10	4	11	0	0	8	0	6	0	0	6	1	1	5	0	1	0	0
初級会話 2		14	5	9	9	0	3	7	0	4	0	0	4	0	0	3	0	2	0	5
初級会話 3		6	5	1	4	0	1	2	0	3	0	0	1	0	0	1	1	3	0	0
初級作文		9	5	4	6	0	0	3	0	6	0	0	4	0	0	1	0	3	0	1
漢字 1		16	11	5	9	0	1	9	0	6	0	0	7	1	1	5	0	2	0	0
漢字 2	共通教育棟	5	3	2	3	0	0	3	0	2	0	0	2	0	0	1	0	1	0	1
漢字 3		4	1	3	4	0	0	0	0	4	0	0	2	0	1	0	0	1	0	0
初級応用	総合教育研究棟	6	5	1	4	0	1	2	0	3	0	0	1	0	0	1	1	3	0	0
中級会話 1		10	7	3	5	0	3	2	1	4	0	0	1	1	1	2	1	3	0	1
読解入門		9	6	3	6	0	0	2	0	7	0	0	0	1	1	1	1	5	0	0
中級読解 1		10	7	3	6	0	2	2	1	5	0	0	0	1	1	2	1	4	0	1
中級会話 2		9	6	3	7	0	2	0	1	5	0	1	1	1	0	1	2	2	0	1
中級読解 2	共通教育棟	4	2	2	2	0	0	0	0	3	0	1	0	0	0	0	2	1	0	0
中級作文	総合教育研究棟	7	5	2	4	0	0	2	1	4	0	0	0	1	1	1	1	3	0	0
発音クリニック	共通教育棟	4	0	4	4	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0
日本語ワーキングショップ		4	3	1	3	0	0	1	0	3	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0
日本人学生と学ぶ鹿児島		12	4	8	9	0	0	0	1	11	0	0	0	0	0	1	4	7	0	0
異文化理解 1		17	11	6	11	0	0	8	1	8	0	0	8	1	1	4	0	2	0	1
異文化理解 2		3	2	1	3	0	0	2	0	1	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0
日本文化入門		6	4	2	5	0	0	0	0	6	0	0	2	0	1	1	0	2	0	0
修了レポート		10	6	4	10	0	0	4	0	6	0	0	6	1	0	2	1	0	0	0
日本語Ⅲ*		45	24	21	0	34	1	1	0	9	0	0	2	2	2	21	11	5	0	2
日本語Ⅳ*		44	22	22	0	35	0	1	0	8	0	0	1	2	2	21	10	6	0	2
日本事情B*		45	23	22	0	36	0	0	0	9	0	0	2	1	2	21	12	5	0	2
郡元キャンパス小計			313	177	136	125	107	14	59	6	125	0	2	51	14	15	96	52	66	0
会館初級 1	国際交流会館	8	4	4	4	0	0	2	0	0	2	4	1	2	0	0	0	1	0	0
会館初級 2		5	0	5	4	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0
会館初級 3		6	2	4	2	0	1	2	0	0	1	2	1	1	2	0	0	0	0	0
会館初級 4		4	0	4	2	0	0	0	0	0	1	3	0	0	1	0	0	0	0	0
国際交流会館小計		23	6	17	12	0	1	4	0	0	4	14	2	3	3	0	0	1	0	0
桜ヶ丘日本語入門	医学部	3	2	1		0	1	0	0	0	2	0	0	0	3	0	0	0	0	0
桜ヶ丘日本語ワーキングショップ	国際交流室	5	2	3		0	4	0	0	1	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0
桜ヶ丘キャンパス小計		8	4	4	0	0	5	0	0	1	2	0	0	0	8	0	0	0	0	0
総計		344	187	157	137	107	20	63	6	126	6	16	53	17	26	96	52	67	0	17


- 注) 1 数字は延べ数。
 2 *印の科目は共通教育科目。
 3 色付セルは単位発行ができない学生の修了者数。
 4 修了者数欄  は修了認定をしない授業。
 5 <>は内数で研修コース生。
 6 専門・所属:研修コース、日韓理工系研修コースの学生はそれぞれの専門によって分類。
 7 短期等:特別聴講学生、特別研究生、県費留学生、教員研修留学生、日本語日本文化研修留学生。

表12 受講者の国籍

平成17年度前期 受講者の国籍

国籍	科 目																											国別人数													
	初級会話1	初級会話2	初級会話3	漢字1	漢字2	漢字3	初級作文	初級応用	中級会話1	中級読解1	読解入門	中級会話2	中級読解2	中級作文	発音クリニック	コンピュータ実習	日本語ロクマシハプ	異文化理解1	異文化理解2	日本文化入門	修了レポート	日本語I	日本語II	日本事情A	日本事情C	科学技術日本語	郡元キャンパス小計		会館初級1	会館初級2	会館初級3	初級応用会話	国際交流会館小計	桜ヶ丘初級1	桜ヶ丘初級2	桜ヶ丘中級	桜ヶ丘キャンパス小計				
イラン	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
インドネシア	0	1	3	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	1	0	0	12	1	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	14
エチオピア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
エジプト	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	1	1	0	1	0	1	0	1	5		
オーストラリア	0	0	2	0	0	1	1	2	2	1	0	1	0	2	0	1	0	1	0	2	1	0	0	0	0	0	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17
韓国	1	1	2	0	1	0	0	0	2	2	0	3	2	3	0	2	0	1	0	2	2	4	4	5	10	0	47	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	49		
コロンビア	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	1	8	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	9		
コンゴ民主共和国	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2		
シエラレオネ	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2		
スペイン	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
タイ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	3	5		
タンザニア	0	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	6	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	7		
中国	1	2	1	0	0	0	0	8	6	1	5	4	10	4	0	1	0	5	4	0	27	27	27	15	3	151	6	3	4	6	19	3	2	2	7	177					
ドイツ	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6		
ナイジェリア	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3		
パキスタン	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2			
バングラデシュ	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	6			
フィリピン	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6			
ブラジル	0	0	1	1	1	0	1	1	1	0	0	0	1	1	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11			
ベトナム	1	2	1	0	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10			
ペルー	0	1	1	1	1	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	1	1	0	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13			
マレーシア	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	3	2	0	13	1	0	1	1	3	0	0	0	0	0	0	16				
ミャンマー	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3			
ロシア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1			
受講者総数	5	12	13	14	5	2	8	8	17	11	4	14	6	17	5	3	3	20	5	10	3	37	38	37	27	7	331	9	4	5	9	27	7	4	3	14	372				

注) 1 数字は延べ数。

表12 受講者の国籍

平成17年度後期 受講者の国籍

国籍	科 目																											国別人数							
	初級会話1	初級会話2	初級会話3	初級作文	漢字1	漢字2	漢字3	初級応用	中級会話1	読解入門	中級読解1	中級会話2	中級読解2	中級作文	発音クリニック	日本語ワークショップ	異文化理解1	異文化理解2	日本文化入門	日本人学生と学ぶ鹿児島	修了レポート	日本語Ⅲ	日本語Ⅳ	日本事情B	郡元キャンパス小計	会館初級1	会館初級2		会館初級3	会館初級4	国際交流会館小計	桜ヶ丘日本語入門	桜ヶ丘日本語ワークショップ	桜ヶ丘キャンパス小計	
アメリカ	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
イラン	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
インドネシア	3	1	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	2	1	1	1	15	0	2	2	0	4	0	0	0	19	
エジプト	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	1	1	5	
オーストラリア	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1	1	1	0	1	1	0	1	0	0	1	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	
韓国	0	2	1	2	0	1	2	1	2	1	2	3	1	2	0	1	1	0	3	7	1	8	8	8	57	0	0	0	0	0	0	0	0	57	
コロンビア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	2	3		
コンゴ民主共和国	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
スペイン	1	0	0	0	1	0	1	0	1	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	
タイ	0	1	1	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	
タンザニア	3	1	0	1	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	3	0	0	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	
チリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1		
中国	3	1	2	1	3	0	0	2	3	1	3	2	1	1	2	1	2	3	0	1	1	30	30	30	123	2	3	3	4	12	2	1	3	138	
ドイツ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
パキスタン	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	1	1	5		
バングラデシュ	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	5	3	0	1	0	4	0	0	0	0	9		
フィリピン	1	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	7	1	0	0	0	1	0	0	0	0	8		
ブラジル	1	1	0	1	1	0	0	0	1	1	1	0	0	0	1	1	1	0	0	1	0	0	11	1	0	0	0	1	0	0	0	0	12		
ベトナム	0	0	1	1	0	0	0	1	0	1	1	1	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10		
ペルー	0	0	1	1	0	0	0	1	1	2	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12		
マレーシア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	10	1	0	0	0	1	0	0	0	0	11		
ロシア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5		
受講者総数	14	14	6	9	16	5	4	6	10	9	10	9	4	7	4	4	17	3	6	12	10	45	44	45	313	8	5	6	4	23	3	5	8	344	

注) 1 数字は延べ数。

平成17(2005)年度日本語コース授業評価

2005年前期・後期の学生による授業評価は前年通り5段階評価で18問である。以下に質問内容およびこれらの質問について5段階評価を行った結果を、前・後期各クラスごとの平均値として示した。なお18問中、質問14から質問18については各担当教官についての個人評価を行っており、その部分については本報告書には含めないものとする。2004年度後期からスタートしたスタディ・ジャパン・プログラムに関連する科目は、前期33科目、後期32科目中19科目である。授業評価未実施のクラスは、前期5科目、後期4科目で、実施率はそれぞれ85%、88%であった。未実施の理由は評価に適しないなどのケースが報告されている。

[質問内容]

- 1 あなたはこの授業によく出席しましたか。
- 2 あなたはこの授業でたくさん勉強しましたか。
- 3 授業でおぼえたことばを毎日の生活で使えるようになりましたか。
- 4 日本の文化や日本人についてよく理解できるようになりましたか。
- 5 授業のスピードはどうでしたか。
- 6 学習量はどうでしたか。
- 7 クラスの学生数はどうでしたか。
- 8 一週間の授業時間数はどうでしたか。
- 9 クラスの規則や成績のつけ方についての説明はどうでしたか。
- 10 このクラスの教材は全体としてどうでしたか。
- 11 このクラスの教え方は全体としてどうでしたか。
- 12 テストのやり方や宿題、レポートの直し方は全体としてどうでしたか。
- 13 この授業は全体としてどうでしたか。
- 14 先生は教える知識と能力が十分にありましたか。
- 15 先生の話し方はわかりやすかったですか。
- 16 質問への答え方はどうでしたか。
- 17 先生の教えることに対する熱意はどうでしたか。
- 18 先生は教えるのを楽しんでいましたか。

[2005年度日本語コース授業評価結果]

[前期]

質問 クラス名	回答者数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	平均
初級会話1	5	3.2	3.4	4.0	3.6	3.8	4.0	3.8	4.2	3.8	3.8	4.2	4.0	4.4	3.9
初級会話2	12	3.9	4.1	4.4	4.3	4.5	4.3	4.5	4.2	4.3	4.4	4.7	4.5	4.5	4.4
初級会話3	11	3.5	3.9	4.4	4.4	4.5	4.5	4.4	4.0	4.4	4.5	4.3	4.5	4.4	4.3
初級応用	5	3.6	3.2	4.6	4.2	4.4	3.2	3.2	4.2	4.4	4.0	4.6	4.4	4.6	4.0
漢字1	13	3.6	3.9	3.9	4.0	3.8	4.0	4.4	4.3	4.4	4.1	4.3	4.1	4.0	4.1
漢字2	4	4.2	4.2	4.5	3.7	4.5	4.2	4.2	4.0	4.5	4.2	4.7	4.2	4.5	4.3
漢字3	4	4.2	4.2	4.5	3.7	4.5	4.2	4.2	4.0	4.5	4.2	4.7	4.2	4.5	4.3
初級作文	5	4.0	4.4	4.6	4.6	4.8	4.6	3.8	3.8	4.8	4.6	4.6	4.8	4.7	4.5
読解入門	3	4.6	3.6	4.6	4.3	4.6	4.6	3.3	4.3	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.4
中級会話1	10	3.9	4.2	4.7	4.5	4.6	4.7	3.5	3.6	4.5	4.7	4.6	4.6	4.7	4.4
中級会話2	10	4.4	4.1	4.2	4.6	4.5	4.7	4.1	4.4	4.6	4.7	4.8	4.6	4.7	4.5
中級読解1	6	4.0	4.1	4.1	4.3	4.8	4.5	4.5	4.6	4.8	4.8	5.0	5.0	5.0	4.6
中級読解2	3	5.0	4.6	4.3	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	4.9
中級作文	7	4.4	4.1	4.1	4.8	4.1	4.7	4.7	4.7	4.8	5.0	4.7	4.8	4.8	4.6
発音クリニック	※														
日本語ワークショップ ^o	※														
異文化理解1	15	3.6	2.8	4.0	4.1	3.9	3.6	4.3	4.1	4.4	4.2	4.0	4.2	4.2	4.0
異文化理解2	※														
日本文化入門	9	4.5	4.1	4.5	4.6	4.6	4.5	4.3	5.0	4.5	4.6	4.6	4.6	4.5	4.5
科学技術日本語	4	3.5	4.0	N/A	N/A	4.2	4.2	4.0	4.7	4.2	5.0	4.0	4.5	4.5	4.3
日本語 I (A)	※														
日本語 I (B)	18	4.6	4.1	4.2	4.1	4.5	4.2	4.3	4.2	4.2	4.2	4.1	4.3	4.6	4.3
日本語 II (A)	16	4.5	3.9	3.7	3.8	4.3	4.0	4.0	4.1	4.1	3.9	4.1	4.3	4.1	4.1
日本語 II (B)	18	4.5	4.3	4.3	4.2	4.5	4.4	4.3	4.5	4.5	4.5	4.7	4.7	4.6	4.5
日本事情A(文系)	11	4.6	4.4	3.9	4.4	4.3	4.3	4.7	4.0	4.4	4.6	4.4	4.5	4.6	4.4
日本事情A(理系)	24	4.6	3.7	3.6	4.0	4.2	4.1	3.8	4.0	4.2	4.0	4.0	4.2	4.1	4.0
日本事情C	23	4.6	4.1	3.8	4.0	4.0	4.0	3.9	4.3	4.2	4.2	4.1	4.2	4.1	4.1
会館初級1	3	4.6	4.6	3.3	3.0	4.3	4.0	4.6	3.6	5.0	4.6	4.6	4.3	4.5	4.2
会館初級2	4	3.7	4.2	3.7	4.5	4.5	4.0	3.7	3.3	4.0	4.2	5.0	5.0	4.5	4.2
会館初級3	3	5.0	5.0	5.0	4.0	5.0	4.6	4.3	4.0	5.0	4.6	4.6	5.0	5.0	4.7
会館初級応用会話	3	3.3	5.0	4.3	4.6	5.0	4.6	4.6	4.6	5.0	4.6	5.0	4.6	5.0	4.6
桜ヶ丘初級1	1	5.0	5.0	5.0	5.0	4.0	4.0	5.0	3.0	4.0	4.0	5.0	5.0	5.0	4.5
桜ヶ丘初級2	3	4.3	3.6	3.3	3.3	3.6	3.6	4.0	3.0	4.0	4.0	4.3	4.0	4.3	3.8
桜ヶ丘中級	※														

※未実施

[2005年度日本語コース授業評価結果]

[後期]

質問 クラス名	回答者数	質問													平均
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	
初級会話1	10	4.4	4.3	4.3	4.3	4.4	4.4	4.1	4.3	4.3	4.5	4.2	4.3	4.5	4.3
初級会話2	11	3.8	3.7	3.9	3.4	3.9	4.0	4.0	3.6	4.1	4.4	4.4	4.2	4.5	4.0
初級会話3	5	5.0	4.4	4.8	4.4	4.4	4.2	3.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4
初級応用	5	4.0	3.8	4.2	4.2	3.4	4.2	4.6	3.8	4.0	4.0	4.0	3.6	3.6	4.0
漢字1	10	4.3	4.3	4.8	4.5	4.3	4.3	4.2	4.0	4.3	4.5	4.4	4.4	4.5	4.4
漢字2	4	4.7	4.7	4.7	4.5	4.7	5.0	4.7	4.7	5.0	4.7	5.0	5.0	5.0	4.8
漢字3	4	4.2	4.7	4.7	4.7	5.0	4.5	4.7	4.0	4.7	4.5	4.5	5.0	5.0	4.6
初級作文	3	4.6	4.0	4.3	4.0	5.0	5.0	4.0	4.6	5.0	4.6	4.6	4.6	5.0	4.6
読解入門	7	3.8	2.7	4.2	4.2	3.8	4.1	3.8	3.8	4.1	4.2	4.1	4.2	4.1	3.9
中級会話1	6	4.1	4.0	4.5	4.3	4.6	4.1	4.0	3.8	4.5	4.5	4.6	4.5	4.6	4.3
中級会話2	7	4.4	3.4	3.5	4.2	4.3	3.7	4.0	3.5	4.4	4.1	4.4	4.0	4.2	4.0
中級読解1	6	3.8	4.0	4.1	4.3	4.5	4.3	4.1	4.1	4.3	4.1	4.3	4.1	4.3	4.2
中級読解2	3	4.3	3.6	3.6	4.0	4.3	4.0	4.0	4.0	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.1
中級作文	3	4.0	3.3	3.6	4.0	3.6	4.0	3.6	3.3	4.3	4.0	4.0	4.0	3.6	3.8
発音クリニック	3	4.6	3.6	4.6	5.0	4.3	4.3	4.6	3.6	4.3	4.3	4.0	4.3	4.3	4.3
日本語ワークショップ	※														
異文化理解1	11	4.7	4.0	4.7	4.4	4.3	4.3	4.8	4.3	4.5	4.5	4.5	4.8	4.4	4.5
異文化理解2	3	4.0	3.3	4.6	3.6	3.3	4.0	4.0	3.0	4.3	4.6	4.3	3.6	4.3	3.9
日本文化入門	4	3.0	4.0	4.0	4.7	4.5	4.5	4.7	4.6	4.7	4.5	4.5	4.7	4.7	4.4
日本語Ⅲ(A)	20	4.8	4.3	3.9	4.2	4.2	4.1	3.9	4.4	4.4	4.5	4.3	4.2	4.5	4.3
日本語Ⅲ(B)	2	5.0	3.5	4.0	4.0	3.5	3.0	4.0	4.0	3.5	3.5	4.0	4.0	3.5	3.8
日本語Ⅳ(A)	※														
日本語Ⅳ(B)	13	4.6	4.3	4.3	4.4	4.5	4.2	4.8	4.4	4.4	4.6	4.5	4.6	4.5	4.5
日本語Ⅳ(C)	1	5.0	4.0	4.0	3.0	1.0	2.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.0	3.0	2.0	2.9
日本事情B(文系)	16	4.6	4.3	4.0	4.5	4.6	4.6	4.1	4.3	4.4	4.6	4.4	4.5	4.7	4.4
日本事情B(理系)	25	4.8	4.0	4.3	4.4	4.4	4.3	4.0	4.2	4.4	4.5	4.4	4.5	4.5	4.4
会館初級1	4	4.2	3.5	3.5	3.2	4.6	4.5	4.0	4.5	4.7	5.0	5.0	5.0	5.0	4.4
会館初級2	4	4.7	4.2	4.2	4.0	3.7	4.0	3.5	2.7	4.0	4.2	3.7	4.0	4.0	3.9
会館初級3	2	5.0	3.5	3.0	3.5	3.5	2.0	2.0	2.5	4.0	4.5	4.0	4.0	4.0	3.5
会館初級4	2	4.5	5.0	4.5	4.0	5.0	4.5	3.0	3.5	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	4.5
日本語ワークショップ(桜ヶ丘)	※														
日本語入門(桜ヶ丘)	※														

※未実施